

授業科目名	セキュリティ技術		科目コード	101005	
開講クラス	情報システム科	コース	ITエンジニア	学 年	2年
担当教員	黒澤 伸也		実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )		
	実務経験内容 IT 企業に3年間勤務し、主に大手キャリアが提供するネットワーク監視チームに所属しつつ、人材育成研修も実施。また業務改善ツール開発も行った。その経験を活かし、実務でどう活用されるか踏まえ講義・実習を行う。				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1単位	
使 用 テキスト1	書 名	情報セキュリティ技術認定 基礎コース テキスト			
	著 者	Security Education Alliance/Japan (SEA/J)			
	出版社	Security Education Alliance/Japan (SEA/J)			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	情報処理安全確保支援士教科書				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ( )				
<授業の目的・目標> SEA/J 主催 情報セキュリティ基礎コースの効果測定である「CSBM」試験の合格 ※CSBM：Certified Security Basic Master					
<授業の概要・授業方針> SEA/J 主催 情報セキュリティ基礎コースの効果測定である「CSBM 試験」の合格にむけて、業務現場での実例などを挙げつつ解説をしていく。					
<成績基準・評価基準> ・筆記試験 100～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可 なお、追試験を行う場合はすべて可と評価する。					
<使用問題集・注意事項> ・CSBM 試験の問題集が存在しないため、実例も含めて細かくメモを取らせる ・CSBM 試験の過去問題は絶対に使わない。契約上コピーなどを取ることも禁止されているため、もし発覚した場合には契約解除および学生の合格取り消しにつながる					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・コンピュータテクノロジー ・セキュリティ基礎(1年次)					

授業科目名		セキュリティ技術
回	授業内容	備考
1	SEA/Jとセミナー、社会人教育について	
2	情報セキュリティの構成要素・情報資産	
3	脅威と脆弱性・PDCA・標準規格・リスク	
4	情報セキュリティポリシー	
5	情報セキュリティ監査・運用	
6	情報セキュリティポリシー・人的セキュリティ	
7	TCP/IP・HUB・VPNの構成	
8	無線LANの脅威・セキュリティ	
9	不正アクセス(犯罪との関係、偵察行為)	
10	パスワードクラック、不正アクセス手法・攻撃	
11	ファイアウォール・パケットフィルタリング	
12	NAT	
13	検知技術：NIDS・HIDS	
14	DNSの構成・セキュリティ	
15	電子メールの仕組み・メールサーバの脅威	
16	メールクライアントのセキュリティ	
17	Webシステムの仕組み・セキュリティ	
18	サービス管理・ファイルシステム管理・アカウント管理	
19	ネットワーク保護・修正プログラム	
20	ログ管理・監査機能・TrustedOS	
21	パスワード認証	
22	バイオメトリクス認証・認証デバイス	
23	認証プロトコル・アクセス制御手法	
24	バッファオーバーフロー・オブジェクト指向	
25	感染経路・不正プログラムの活動・検出方法	
26	暗号(共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式)	
27	ハッシュ・電子署名・電子証明書・認証局	
28	セキュリティプロトコル	
29	セキュリティプロトコル	
30	法令・規格	